

2023年12月13日
行政報告資料
町田市民病院事務部 経営企画室

町田市民病院第4次中期経営計画（2022年度～2026年度）及び 事業計画の進捗状況について（2023年度上半期）

町田市民病院では、質の高い医療サービスを提供し、安定した病院経営を維持していくために、「町田市民病院第4次中期経営計画（2022年度～2026年度）」及び「2023年度町田市民病院事業計画」に基づき、経営改善を進めて参りました。

このたび、2023年度上半期の進捗状況をまとめましたので、その結果を報告いたします。

添付資料

- ・ 町田市民病院第4次中期経営計画（2022年度～2026年度）及び事業計画の進捗状況について（2023年度上半期）

町田市民病院第4次中期経営計画（2022年度～2026年度）及び事業計画の進捗状況について（2023年度上半期）

2023年12月13日
行政報告資料
町田市民病院事務部経営企画室

1. 良質な医療の提供 ～持続可能な医療提供体制を提供していきます～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2023年度(上半期)の実績
<p>(1) 患者満足度の向上</p> <p>【2023年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院総合評価率 90.0% 外来総合評価率 75.0% 	<ul style="list-style-type: none"> 入院総合評価率 90.0% 外来総合評価率 75.0% 	<ul style="list-style-type: none"> 入院総合評価率 集計中 外来総合評価率 集計中 	<ul style="list-style-type: none"> 入院患者満足度の向上 外来患者満足度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 患者満足度調査を9月から10月にかけて実施しました。2022年度に引き続き患者満足度調査を外部委託し、他医療機関とのサービス比較ができるベンチマーク形式に変更しました。 2022年度調査結果を受け、下半期に接客研修を実施予定です。
<p>(2) 情報提供の充実</p> <p>【2026年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院ホームページへのクリニカルパス掲載数 70件 <p>【2023年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 動画コンテンツ平均再生回数 	<ul style="list-style-type: none"> クリニカルパスHP掲載数 57件 動画コンテンツ平均再生回数 300回 (2023年度アップロード) 	<ul style="list-style-type: none"> クリニカルパスHP掲載数 48件 動画コンテンツ平均再生回数 0回 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページへのクリニカルパス掲載 動画コンテンツの再生回数の向上 	<ul style="list-style-type: none"> クリニカルパスについては、HPで検索しやすくなるよう検討中です。掲載数については、パスを掲載している診療科と調整しています。 上半期は、診療科と市民公開講座の内容について、調整を行いました。下半期は動画作成、ホームページへの動画公開を行うとともに、チラシの配布や広報まちだへの掲載等、コンテンツの周知に努めることで、平均再生回数の増加を目指します。
<p>(3) 医療連携の推進</p> <p>【2023年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介率 77.0% 逆紹介率 65.0% <ul style="list-style-type: none"> 地域医療従事者向け研修回数 21回/年 医師による連携医療機関の訪問 30件/年 <p>【2026年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介件数 18,000件/年 	<ul style="list-style-type: none"> 紹介率 77.0% 逆紹介率 65.0% <ul style="list-style-type: none"> 地域医療従事者向け研修 21回/年 医師による連携医療機関の訪問 30件/年 <ul style="list-style-type: none"> 紹介件数 16,800件/年 	<ul style="list-style-type: none"> 紹介率 80.2% 逆紹介率 66.1% <ul style="list-style-type: none"> 地域医療従事者向け研修回数 6回/半年 医師による連携医療機関の訪問 0件/半年 <ul style="list-style-type: none"> 紹介件数 8,039件/半年 	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療支援病院としての機能強化 地域医療従事者向け研修の実施 連携医療機関との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> 紹介率は80.2%となり、2022年度上半期実績(75.5%)と比べ4.7ポイント増加しました。紹介件数は8,039件/半年となり、2022年度上半期実績(7,955件/半年)と比べ84件(1.1%)増加しました。小児の感染症流行により紹介患者が増加したことや、2021年度から常勤医師による診療体制が再開した耳鼻咽喉科において、地域との連携を進めました。また、当院を受診する患者様や関係機関に対し、紹介受診について周知しています。 逆紹介率は66.1%となり、2022年度上半期実績(61.4%)と比べ4.7ポイント増加しました。8月に国の新たな制度である「紹介受診重点医療機関」に認定され、地域との機能分化の推進に努めました。 地域連携強化のため、連携医を対象に地域連携に関するアンケートを9月末に送付しました。 地域医療従事者を対象とした[*]研修会を6回実施しました。 [*]①褥瘡ケア、②CD腸炎、③スキンテア(高齢者の皮膚損傷)、④特定行為看護師の活動、⑤認知症患者の特徴的心理や行動、⑥小児科症例検討会 地域医療機関と医師も含めたオンライン交流会の開催、地域医療交流会に向けた準備を行いました。
<p>(4) 入退院支援の充実</p> <p>【2026年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入退院支援件数 2,500件/年 	<ul style="list-style-type: none"> 入退院支援件数 2,440件/年 	<ul style="list-style-type: none"> 入退院支援件数 1,141件/半年 	<ul style="list-style-type: none"> 入退院支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 入退院支援件数は1,141件/半年となり、2022年度上半期実績(1,097件/半年)と比べ44件(4%)増加しました。多職種で連携することで、入退院支援が必要な患者に対して、退院後の療養環境や介護サービスなど、個々の状況に応じて患者に寄り添った支援を行っています。 近隣の2次救急を担う医療機関の入退院支援看護師と医療ソーシャルワーカーのオンライン交流会を開催し、入退院支援の現状把握や課題について情報共有を行いました。 町田市内の医療機関と毎月オンラインで情報交換を行い、転院調整がスムーズにできるよう取り組みました。 面会制限の緩和に伴い、患者・家族と対面での面談が行えるようになり、スムーズに退院・転院の支援・調整に繋がりました。
<p>(5) 医療安全・感染防止対策の推進</p> <p>【2023年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全・感染対策講習会受講率 100% 医療安全管理者研修の受講医師数 1人/年 	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全講習会受講率 100% 感染対策講習会受講率 100% 医療安全管理者研修の受講医師数 1人/年 	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全講習会受講率 (前期100%) 感染対策講習会受講率 (前期100%) 医療安全管理者研修の受講医師数 1人/年 	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全・感染対策などの研修の必修化 更なる医療安全文化の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度に引き続き、2023年度も新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナという)対策のため、動画視聴を中心に実施しました。医療安全講習会の前期受講率は100%となりました。 医療安全管理者研修は下半期に医師1名受講予定です。
<p>(6) 病院職員の安定確保</p> <p>【2026年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> (常勤職員数) 医師 93人 看護師等 410人 医療技術 115人 事務 41人 計 659人 ※育休及び休職者は含まず 	<ul style="list-style-type: none"> 常勤職員数 658人 臨床研修指導医数 26人 	<ul style="list-style-type: none"> 常勤職員数 627人 臨床研修指導医数 26人 	<ul style="list-style-type: none"> 常勤職員の安定確保 研修医師の指導体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、常勤職員については、施設基準を満たす人員を確保しています。引き続き、医師・看護師を中心とした人員の確保に努めます。なお、育休及び休職等で職員が不足する際は、会計年度任用職員を採用し、病院運営に支障をきたさないよう努めています。 臨床研修指導医は26名が在籍しており、2023年度は1名が指導医講習を受講し、27名となる予定です(12月受講予定)。 <p><2023年9月1日時点></p> <ul style="list-style-type: none"> (常勤職員数) 医師 82人 看護師等 390人 医療技術 113人 事務 42人 (うち病院専任 15人) 計 627人 ※育休及び休職者は含まず

町田市民病院第4次中期経営計画（2022年度～2026年度）及び事業計画の進捗状況について（2023年度上半期）

2. 5疾病6事業の医療提供体制確保と充実 ～地域の医療提供体制を支えます～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2023年度(上半期)の実績
(1) がん 【2025年度】 ・悪性腫瘍手術件数 860件/年 (内視鏡的切除術を含む) 【2023年度】 ・外来化学療法件数 190件/月 (抗悪性腫瘍剤のみ)	・悪性腫瘍手術件数 820件/年 (内視鏡的切除術を含む) ・外来化学療法件数 190件/月 (抗悪性腫瘍剤のみ) ・内視鏡手術支援ロボットによる手術件数 55件/年	・悪性腫瘍手術件数 345件/半年 (内視鏡的切除術を含む) ・外来化学療法件数 195件/月 (抗悪性腫瘍剤のみ) ・内視鏡手術支援ロボットによる手術件数 30件/半年	・手術療法の充実 ・ベッドの効率的な運用 ・低侵襲手術の推進	・悪性腫瘍手術件数については、345件/半年となり、2022年度上半期実績(334件/半年)と比べ11件(3.3%)増加しました。 ・外来化学療法件数は195件/月となり、2022年度上半期実績(154件/月)と比べ41件/月(26.6%)増加しました。 ・内視鏡手術支援ロボットによる手術件数は、30件/半年となり、半年では目標値を上回りました。現在実施している泌尿器科領域(前立腺がん)、消化器外科領域(直腸がん)の安定的な稼働を目指すとともに、2024年には新規の手術として、呼吸器外科領域(肺がん)の実施を予定しています。
(2) 脳卒中 【2023年度】 ・脳神経外科・脳神経内科新入院患者数 870人/年	・脳神経外科新入院患者数 479人/年	・脳神経外科新入院患者数 185人/半年	・脳卒中患者の積極的な受入	・脳神経外科新入院患者数は185人/半年となり、2022年度上半期実績(195人/半年)と比べ10人(5.1%)減少しました。救急患者数及び救急からの入院患者数は2022年度と比較して増加している一方で、紹介患者等における入院患者数が減少したため、2022年度と比べて減少しました。
(3) 心疾患 【2024年度】 ・循環器(MDC05)入院患者数 820人/年	・循環器(MDC05)入院患者数 799人/年	・循環器(MDC05)入院患者数 308人/半年	・心疾患患者の積極的な受入	・循環器(MDC05)入院患者数は308人/半年となり、2022年度上半期実績(295人/半年)と比べ13人(4.4%)増加しました。2022年度は新型コロナにより、紹介数が減少傾向でしたが、現在は回復傾向にあるため、入院患者数の増加につながりました。
(4) 救急医療 【2023年度】 ・救急車による受入患者数 525人/月	・救急車による受入患者数 525人/月 ・救急応需率 60.0% ・HCU(高度治療室)運用病床数 12床	・救急車による受入患者数 480人/月 ・救急応需率 61.4% ・HCU運用病床数 10床	・救急隊との連携強化 ・高度急性期機能の充実	・救急車による受入患者数は480人/月となり、2022年度上半期実績(365人/月)と比べ115人/月(31.5%)増加しました。特に、7～8月は要請が多く、500台以上の救急車を受入れました。応需率は61.4%となり、2022年度上半期実績(51.2%)と比べ10.2ポイント増加しました。 ・新型コロナが5類に移行したことに伴い、コロナ専用病棟の運用を変更するとともに、HCU(高度治療室)病棟を開設し、救急の応需が可能となったことで受入患者数が増加しました。また、夜間帯における救急患者の迅速な受入れに備え、夜間帯前に病床の状況がわかるシートを使用し、病床の調整、救急患者用の病床確保をしました。医師を交えて町田消防署との意見交換会を行い連携強化に努めました。 ・HCU病棟を5月1日から開設し、当面10床で運用を行っています。また、7月1日からはハイケアユニット入院医療管理料の算定を開始しました。
(5) 災害医療 【2022年度】 ・連携訓練回数 1回/年	・連携訓練回数 1回/年	・連携訓練回数 1回/半年	・災害時を想定した医療機関等との連携推進	・南多摩保健医療圏病院間における通信訓練を9月に実施しました。広域災害救急医療システム(EMIS)に加え、新たに大規模災害対策情報システム(PEACE)と衛星電話を利用した通信訓練を実施しました。 ・町田市民病院総合防災訓練を2024年1月に実施します。2022年度策定した事業継続計画(BCP)に基づき、訓練(情報伝達、職員参集システムなど)を実施します。
(6) 小児医療 【2023年度】 ・小児科入院患者数 10人/日	・小児科入院患者数 10人/日	・小児科入院患者数 9人/日	・小児入院体制の維持	・小児科入院患者数は9人/日(新生児内科除く)となりました。2023年度上半期は各種感染症の流行などにより、入院需要が増加していたこともあり、2022年度上半期実績(6人/日)と比べ3人/日(50.0%)増加しました。
(7) 周産期医療 【2023年度】 ・母体搬送件数 95件/年 ・NICU・後方支援病床 新入院患者数 150人/年	・母体搬送件数 95件/年 ・NICU・後方支援病床新入院患者数 150人/年	・母体搬送件数 31件/半年 ・NICU・後方支援病床 新入院患者数 76人/半年	・ハイリスク妊産婦の積極的な受入 ・新生児受入体制の維持	・母体搬送件数は31件/半年となり、2022年度上半期実績(31件/半年)と同数となりました。南多摩保健医療圏で唯一の地域周産期母子医療センターとして、今後も積極的な受け入れを行っていきます。 ・NICU・後方支援病床新入院患者数は76人/半年となり、2022年度上半期実績(86人/半年)と比べ10人(11.6%)減少しました。

町田市民病院第4次中期経営計画（2022年度～2026年度）及び事業計画の進捗状況について（2023年度上半期）

3. 健全経営の推進 ～収益の向上と費用の適正化を図ります～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2023年度(上半期)の実績
(1) 病床の安定的稼働 【2026年度】 ・病床利用率 85.0% ・新規入院患者数 1,000人/月	・病床利用率 82.0% ・新規入院患者数 928人/月	・病床利用率 69.3% (新型コロナ関連病床を除いた場合 80.9%) ・新規入院患者数 832人/月	・稼働率の低い病床の活用方法の検討	・病床利用率は69.3%となり、2022年度上半期(66.5%)と比較して、2.8ポイント増加しています。新型コロナ専用病棟を一部、一般病床として運用を再開したことにより、徐々に改善の兆しが現れています。今後もHCUの有効活用や新型コロナ病床の効率的な転換を行い、スムーズな受け入れ体制を構築することで利用率向上を目指します。
(2) 診療単価の上昇 【2023年度】 ・入院単価 65,000円 【2026年度】 ・外来単価 13,000円	・入院単価 65,000円 ・RRS設置に向けた検討 ・外来単価 12,700円	・入院単価 72,747円 ・急性期充実体制加算取得に向けた調整 ・外来単価 13,357円	・新規施設基準の取得 (急性期充実体制加算の取得) ・慢性期患者の逆紹介の推進	・入院単価は72,747円となり、2022年度上半期実績(69,671円)と比べ3,076円(4.4%)増加しました。引き続き新規施設基準取得に向け、体制の構築に取り組みます。 ・急性期充実体制加算の取得に向けて、※RRSを院内に設置する必要があるため、体制構築に向けて院内部署と調整を進めています。 ※RRS:入院患者の急変兆候をとらえて迅速に対応する体制のこと ・外来単価は、13,357円となり、2022年度上半期実績(12,406円)と比べ951円(7.7%)増加しました。主な要因としては注射料の増加が挙げられます。今後も医療機能の役割分担を推進しつつ単価向上に努めます。
(3) 医業費用の適正化 【2023年度】 ・給与費比率 61.0% ・薬品費比率 12.1% 【2024年度】 ・診療材料費比率 8.8%	・給与費比率 62.8% ・薬品費比率 12.6% ・診療材料費比率 9.2% ・後発医薬品使用割合 90.0% ・電気使用量の削減 3%減(2021年度比)	・給与費比率 ー% ・薬品費比率 13.3% ・診療材料費比率 7.8% ・後発医薬品使用割合 91.7% ・電気使用量の削減 10.8%減(2021年度比)	・適正な人員配置と定数管理 ・薬品費の削減 ・ベンチマークを活用した診療材料費の削減 ・光熱費の高騰に対する対応	・薬品費比率は13.3%となり、2022年度上半期実績(12.5%)と比べ0.8ポイント増加しました。抗がん剤等の高額薬品の使用量増加やコロナ関連薬品の購入により目標値は下回りましたが、薬品の購入にあたり競争見積及び価格交渉を実施した結果、薬品費の値引率は14.2%で全国平均(約12.7%)を1.5ポイント上回りました。 ・診療材料費比率は7.8%となり、2022年度上半期実績(8.7%)と比べ0.9ポイント減少しました。コロナ禍による欠品や原材料費及び輸送費、燃料費等の高騰による値上げが相次ぎ価格交渉が難しい中、より安価な製品への切替に積極的に取り組んだ結果、目標値から1.4ポイント低くすることができました。 ・後発医薬品使用割合については、後発医薬品への切り替えを進めた結果、目標値を1.7ポイント上回りました。 ・電気使用量は2,194,090kWhとなり、2022年度上半期実績(2,460,408kWh)と比べ、266,318kWh(10.8%)減少しました。コジェネシステムの運用見直しおよび熱源機器の運転調整が削減の主な要因です。
(4) 効率的な手術室等の運用 【2025年度】 ・手術件数 13,800件/年 (うち手術室内 5,240件/年) (うち麻酔科管理 3,400件/年)	・手術件数 12,000件/年 (うち手術室内 4,500件/年) (うち麻酔科管理 3,000件/年)	・手術件数 6,297件/半年 (うち手術室内 2,273件/半年) (うち麻酔科管理 1,499件/半年)	・手術室、内視鏡室等の運営の効率化	・手術件数は6,297件/半年となり、2022年度上半期実績(6,190件/半年)と比べ107件(1.7%)増加しました。新型コロナによる入院制限に伴う、患者の手術待ち状況は改善されつつあります。コロナ禍を脱する中、一般病床の運用効率化を図ることで手術件数の増加に努めます。

町田市民病院第4次中期経営計画（2022年度～2026年度）及び事業計画の進捗状況について（2023年度上半期）

4. 人材育成と働き方改革の推進 ～育成体制を構築し、働き方改革に取り組みます～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2023年度(上半期)の実績
(1) 職員満足度の向上 【2024年度】 ・職員満足度 45.0%	・職員満足度調査に基づく改善策の実施 病院の方針、経営状況の周知 会議・委員会情報の共有 各部門での情報共有の推進 教育体制のマニュアルの強化 パワハラ対策の強化 職員の安全確保	・2022年度調査結果に基づく改善策の実施	・職員満足度調査に基づく改善策の実施	・病院の方針について、院長及び看護部長のメッセージ動画の配信を行いました。 ・2022年度の職員満足度調査結果を踏まえ、課題抽出を行い、院内で共有を行いました。 ・2年に1度実施する2024年度の職員満足度調査に向けて、改善策の取り組みを進めてまいります。 <職員満足度調査結果に基づく業務改善> 病院の方針、経営状況の周知 会議、委員会情報の共有 各部門での情報共有の推進 教育体制、マニュアルの強化 パワハラ対策の強化 職員の安全確保
(2) 働き方改革への取組 【2024年度】 ・5日以上有給休暇取得率(医師) 100% ・時間外労働月45時間以上の医師数 0人	・5日以上有給休暇取得率(医師) 100% ・時間外労働月45時間以上の医師数 5人	・5日以上有給休暇取得率(医師) 51.8% ・時間外労働月45時間以上の医師数 8人	・ワークライフバランスの実施 ・時間外勤務の削減	・有給休暇5日取得を推進するため、5日未取得の医師に取得計画を提出するように通知します。 ・2024年度に向け、診療科毎の宿日直許可の申請書を提出します(10月中旬)。また、医師の負担軽減を目的に、多職種連携によるタスクシフト・シェアの取組を進めます。